

■第2部:グループワーク (地域の子育て環境の良いところ・困っているところ)

【保育士・こども園など】



(良いところ)

- ・保育料がすごく安い。ありがたい
- ・小学校やこども園が開放されている
- ・園庭が広い(新城こども園)
- ・新しい園舎がきれい(城北こども園)
- ・支援センターでいろいろな情報が得られる
- ・給食がおいしい(地元の食材、手づくり)
- ・リミックで集中力、団結力が向上している
- ・英語教室をやっている(新城こども園)
- ・活動交付金が3園の交流につながった
- ・(保護者対象の)茶話会をどんどん行って欲しい



(困っているところ)

- ・こども園のスタッフを増やして欲しい
- ・男性保育士が少ない
(男の人がいると雰囲気が変わる)
(男の子っぽい遊びができる)
- ・療育ができる園、保育士が増えて欲しい
- ・一時保育が不便(持ち物、場所)
- ・制服、体操服が高い
- ・2園を行き来する手段が欲しい(バス等)



(改善提案)

- ・保育士の資格がなくても、こどもを見れる方を!
- ・こども園のスタッフとして、卒園した子の母親達が働く場所にしてもよいのでは?
- ・(保育士だけでなく)ボランティアやお手伝いしてくれる人を増やしても良いのでは?
- ・(育休中の)有資格者が現場に戻りやすいように勉強会、研修会があると良い

【公園・公共施設など】



- ・小さい公園が多い。整備されている
- ・病院の待ち時間が少なくていい



- ・公園を増やして欲しい(近くにない)
- ・ちょっとした室内遊び場、スペースがない
- ・図書館が子連れで行きづらい
- ・各地区に児童館が欲しい
- ・市民病院の小児科 入院対応して欲しい
- ・言語訓練士を増やして欲しい
- ・プールがない。川でも泳げない
- ・ガードレールが欲しいところがある



- ・スーパー内に遊び場をつくる
- ・商店街の店舗を貸して何かする
- ・オートキャンプ場をつくる

【住環境など】



- ・祭りがアツい
- ・自然が豊か
- ・野菜が安い。おいしい
- ・あいさつができる
- ・地域の目がある。子どもを叱ってくれる
- ・エコなまち(夜が静か)



- ・外からの人間には祭りがツライ
- ・(祭礼の)行事の情報が手に入りにくい
- ・習い事の選択肢が少ない
- ・高齢者の運転マナーが怖い
- ・歩きスマホ(若者)
- ・土地が安くない



- ・こども園や公民館で何か習い事を行う



平成29年2月25日（土）、「子育て」をテーマに今年度3回目となる茶話会が、開催されました。そのときの内容を、まとめましたのでご覧ください。

■第1部：活動報告（平成28年度地域活動交付金事業）



【中央こども園保護者会】

夕涼みの会

今年で閉園となる中央こども園。閉園しても、地域と地域の子どもたちとのつながりが失われないようにと、盆踊りをメインとした地域との交流会を開催。幅広い世代からの参加があり、今後の事業継続を望む声も多く聞かれた。



【新城こども園保護者会】

人形劇

未就園児の保護者や他園の子どもたちにも、新城こども園の魅力を知ってもらいたいと、人形劇鑑賞と合わせて、広い園庭を使ったスタンプラリーを開催。地域の方から教わり保護者がつくった折り紙のプレゼントもあり、大勢の来場者でにぎわった。



【城北こども園保護者会】

移動動物園・城北まつり・食育講座ほか

春から同じ小学校に通う他園の子どもたちとの交流や、育児相談できる関係をつくるための保護者同士の交流や地域との交流などを目的に、5つの事業を開催。2回目の開催となった城北まつりは、早くも地域に定着しつつある。